





# 岸根 誠 先生



自分でペイントされた愛車と  
(数 学)

— 年令、星座、血液型など。26才で7月18日のカニ座でAB型です。出身校などは、養小中学校で、京大理学部で数学科、専門は偏微分方程式です。偏微分方程式？(おもわず言ってしまう)。解析の一種で微積分に通じるものです。

— 教師になられた理由は。もともとは、教師になるつもりはなかった。それは何か学部の終わりを意味するようなイメージがあったからです。それで大学院にはいかなかった。丁度、その時、洛星からお声をかけていただき、ゼミの先生に僕のイメージのゆがみを正され、気持ちの整理も

## 新任の先生

### 小杉 正史 先生



(事 務)

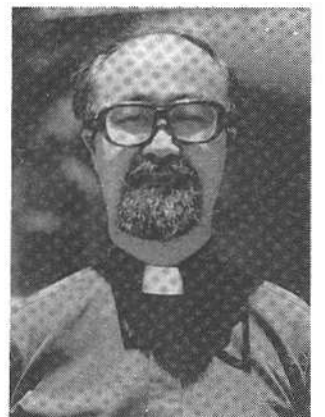
— まず年令と星座と血液型を。え、年令が22才、血液型はA型、星座は天秤座です。出身校は。中学校は市立西宇治中学校、高校は府立西宇治高校、大学は同志社大学の商学部出身です。クラブは何を。中学、高校と吹奏楽部でトロンボーンをやっていました。

— 本当に好きです。最近読まれた本や、見られた映画などは。映画も本もあり読んだり、見たりしないですね。最近、法華経を読みかけています。これは、物語で文語の響きが好きだから、口語訳を見ず、韻律を意識して読んでいます。俳句も好きです。特に蕉村のものが好きです。

— 今の情報化社会から、隔離されてませんか。そうかもしれないけど、人間的なものにこだわっているためと思う。

— 最後に。内容などから言って、高校ぐらいの勉強の知識が、一番利用しやすいものだと思うから、受験にこだわらず、勉強してほしいですね。

— 神父さんになられたきっかけは？洗礼を受ける前に出会った神父さんにとってもいい人で、こんな人になろうと思っていました。



(宗 教)

# 田中 信明 先生

— 洛星でズーッと、やっていけるのですか。ズーッとやっていきたい。洛星の生徒は元気があって、ハッキリしているし、みんなが将来の理想をもっている。人間的な親切さを感じます。

「花には水、人生には笑い」という言葉を忘れたい。どんな高校生でしたか。すごく楽しかったです。冬でもゲタをはいていたり。男女共学で九クラスあって、女子は三分の一ぐらいだった。わりあい勉強も運動もがんばっていた。生徒会活動も盛んな学校で。

— 立候補の動機は？近頃、文化祭がマンネリ化しているのではないかと、思いがけず思いました。そして、その原因を考えたとき、僕は文化祭企画委員(文企)というのに問題があるのではないかと、思いました。文企の人達が悪いのか、文企の構成過程に問題があるのか、文企の募集方法が問題なのか、と。最終的には口コミで決めているように、だからお互いに親しい者が集まることになり、やりたいな、あと思つていても、その仲間に入っていないと、やれない人がいます。僕は、そんな人達にも参加してほしいのです。そのためには文企の募集のとき、生徒会の方から大々的に宣伝をしたらいいのではないかと。僕はこんな点を考えて立候補したので。

## 前期高校生 生徒会長 インタビュー

高1で、しかも文企未経験。その上、対立候補が「彼らに文化祭はできません」と言ったりで何かと話題をまいた高校生生徒会。三役全員のインタビューを希望していたのですが都合がつかないそう、会長の菱本君に立候補の理由、文化祭はどうなるか、などを中心に聞いてみました。

— 文企は一般生徒に広く開放されていいというのですか？文企は展示、モギ店等、各パートに分れて活動するので、すけれど、そのリーダーとか中心になるのは、やはり仲間うちの人ばかりで、開放されていいと思いません。だから初めて文企になった人などが発言しても、あまりのこと合わせてもらえないというところもある。そういうところが改善できれば、と考えています。確かにリーダーは、技術、経験が豊富でないと困るかもしれませんが、たとえ経験の浅い人ばかりだったとしても、みんなで元リーダーの人などに教わればカバーできると思います。

## インタビュー

### 古賀 慎二 先生



(地 理)

— まず年令と血液型を教えてください。年令弱冠24才で、今年25になるんですけど、血液型はA型です。高校はどちらですか。九州の東筑高校です。それで今は大学院生なのですか。ええ。立命館大学です。都市地理学です。主に都

— 洛星の生徒にメッセージ。この中学、高校の時期っていうのは一番いいときだと思ってる。この時期に洛星にいてよかったと思える生活を送ってほしいですね。

— 洛星の生徒に一言。一言ですか。わかってると思うけど、大学へ行ったら、大学へ行って、どういう力をつけたのかと目的をもったから、その大学の大学へ入るのだとすれば、有意義な学校生活を送れると思います。

— 文企は一般生徒に広く開放されていいというのですか？文企は展示、モギ店等、各パートに分れて活動するので、すけれど、そのリーダーとか中心になるのは、やはり仲間うちの人ばかりで、開放されていいと思いません。だから初めて文企になった人などが発言しても、あまりのこと合わせてもらえないというところもある。そういうところが改善できれば、と考えています。確かにリーダーは、技術、経験が豊富でないと困るかもしれませんが、たとえ経験の浅い人ばかりだったとしても、みんなで元リーダーの人などに教わればカバーできると思います。

## 局員募集



— みんなでやっているという雰囲気はあるのでしょうか？

あります。高二の人達とも結構話し合っていますし、中学の方でも会長を中心に頑張っているようですね。当初心配していたようなことはありません。

今年の文化祭で新しくしたりするのは？

僕らとしては、文化祭の基盤というか、中身を問うのではなく、全員で作ろうという気持ちから出発していますので、特にこれといった企画はありません。ただ、映画や小講堂の催し物におけるマンネリズムをななくそうと今考えているところです。

A black and white photograph of four young men. Three are seated in the foreground, wearing light-colored shirts with a dark, repeating pattern. The man on the left is looking slightly to the camera. The man in the center is wearing glasses and looking towards the camera. The man on the right is looking slightly away from the camera. Standing behind them is a fourth man, wearing a dark, high-collared uniform with buttons, looking towards the camera. The background shows a window with a patterned curtain and a dark doorway.

**説局** 先日、カウンセリングについてのプリントをもらった。みなさんはこのことについて、どう思われたであろうか。多くの人は、「なんだこんなもの。僕には関係ない」などと思って、無関心な反応しか示さなかっただろう。しかし、カウンセリング制度というものには大きな意味があると思う。多くの人は悩みを持って、自分で解決したり時間が解決してくれたりして、問題なく生活しているだろう。しかし少数ではあるが、悩める人がいることは、疑いのない事実だ。ところで彼らを放って置いてよいのだろうか。決して放って置いてはならないと思う。ところが今までカウンセリングについての問題意識はあまりにも乏しかったし、その存在すらほとんど知られていなかった。これはカウンセリング制度が充実していないこと起因すると思

う。

本校の生徒なら必ず大学受験の問題にぶつかる。ところでみなさんはその時にどうしてきただろうか。またはどうするつもりだろうか。一人で考えたり両親や先生に相談したりしたのであるうか、すばらしいカウンセラーに気軽に相談できればなあと思った人もいると思う。みなさんも実際にそんなふうに進学や適性について気軽に相談できて、自分の行きたい大学や勉強したい学問分野におられる先輩を紹介してもらったり、各大学の特色や設備について教えてもらったりしたらたいへんによい参考になると思わないだろうか。

右に書いたことは進学や適性についてのことだが、精神的なことや人間関係、健康などについても言えることだと思う。思春期にいる僕達は、有頂天になったかと思うと次の日には落ち込んだりしがちだし、交友

関係や健康などについてばしば悩むと思う。そのような時、自分の心をはずかしがらずに気軽にさらけ出せるところがあれば、学校生活はうまくいくに違いない。ところが残念なことに、今までの本校にはそこまで充実した制度はなかった。また学校のカウンセラー室を訪れた者も非常に少なかったと思う。そこで今回を機に、誰もが気軽に入ることができ、どんなことでも相談のつてくれ、時には他の相談所や電話相談を紹介してくれるような絶対に秘密を守ってくれるカウンセラー室ができることを期待する。また父兄を対象とした相談窓口のようなものもできればすばらしいと思う。そうして生徒および父兄の生の声がどんなものであるかを把握してもらえれば、これからの学校づくりにも役立つと思う。そうすれば洛星はますますいい学校になっていくであろう。

今回は五期生で京大工学部の教授をしておられる荒木光彦先輩のお宅にお邪魔してお話を伺いました。

——最近洛星の生徒を見かけられた事は。

実を言うと子供が洛星へ行っておりまして……。

——やっぱり洛星が良いという事ですか。

格別良いかどうかは知らんけど。まあまあ良いですよと。

——先輩が行かれてた時と比べてどうですか。

大分、学校の大きさと自身が変わっちゃっていますからね。学校の質というか、時代が変わったんじゃないですか。

——行つてられる間にできたものとかは。

行つたとたん真ん中の渡り廊下ができまして、そこをつないで体育館ができます。それからちょうど卒業する時に、三学期に一回だけ利用したんですけど、食堂ができたんです。まだ正式には営業してなかったけど、せっかくやから食べて

——入学試験はどんなのだ  
つたんですか。

ペーパーテストは原則と  
して無かったですね。だか  
ら試問なんですわ。国語と  
算数と理科、社会全部有っ  
たかな。算数なんか、部屋

「ケインのことはよく、最後には  
キヤン・フアイアがあつた  
んですね。今は火燃やした  
ら怒られんのかなかと思  
いますけどね。後、仮装行  
列はやったね。」

——洛星で印象に残ってい  
る先生は。

「まず天文部の先生ね。そ  
れと、観ちゃんやね。中三  
の時やったかな。大学出て  
入ってこられたんですか。」

月がたいては物に影を映して、  
つてましたね。そんな感じが  
作れるもんならおもしろい  
なあという漠然とした、ま  
あ何でもそうでしょうけど  
ちよつとやりだすと面白く  
なるのが普通で、ちよつと  
足を踏み入れた、人頭脳と  
そのものじゃなくって自動  
制御というのをやっており  
ますけどね。まあ専門はフ  
ィードバック制御と言いま

つとずれるんですね。ほつたらかしといったらものすごくずれるから、ずれたか、ずれて無いか常に測定機で測っていて元にもどしてあげるわけですね。まあそれはロケットの話ですけど、鉄板を圧延するとか、ポイラーをたたくとか。まあそんな、人間がゆっくり見てから考えとつちや間に合わんとこ

たんで、  
洛星の生徒に何か一言  
なかなかこれといって無  
いんですけど、その時その  
時を自分の信ずるところに  
従って一生懸命にやるしか  
しょうがないでしょう。と  
いうぐらいですかね。先を  
見通して計算して生きるか  
というよりは、その時その時  
をがんばらな。がんばらな  
というのは勉強しなさいと

の前に坐って色々聞かれる訳ですわ。一つだけ覚えてるのは、理科の時、石見せられてこれ何ちゅう石や、と。

——文化祭はどんな風だったんですか。

年によって色々違っていったと思いますけれど覚えて

——何をやりたくて工学部へ行かれたんですか。

その頃、電子工学というのがはやりでして。人工頭

して例えばロケットでも飛ばしますとある程度は計算

事は。  
他へ行っていたんかもわからんけども、良い友達ができたと思っています。後はまあ、英語はやっぱり得ましたと思います。まあ厳しかったことでもありますな。一年の時から日本語のあんまりわからん神父さんやつ

に入っていくと、最初にばつと渡されて簡単な計算をやられたのかな。国語でも漢字くらい書かされたと思います。入ったとたんに行きます、それ持てずと行くんです。まあそれがちやうどさうで、後は目

漢文をね。こつちも初めてで、向こうも多分教えるの初めてで。

——どんな人だったんですか。

言い難いがなあ。ははっ言い難いけど、非常にこう

ろもありますし、いちいちオペレーターはり付けるのも大変なんで、ほとんどのところでそういう制御というのはやっているわけですね。その理論をやっている

昭和36年4月、当時の10期生が中学一年生の時に、一年生を中心にして、それまでの地歴部から分離独立する形で中学地理部が創設された。当時の活動状況は、地理部の部誌「DATA（脱兎）」によると、立地地理模型の製作、各地の民芸品や工芸品、絵葉書を集めたりするという内容でありました。そのうち、立地地理模型の製作は現在でも続けられており、最近では京都周辺の模型を毎年作成しています。その後の活

動は、日本各地の調査と実施研修というパターンが続き、昭和48年に、高校地理研究会が発足、翌年には高校地理部となり、57年には中高地理部が合併して現在に至っています。

昭和53年に市電廃止問題にからめて、京都市電問題を扱ったり、数年間、西陣のテーマで研究したりしてきましたが最近では鉄道や都市交通など交通問題が中心になっています。

ここ数年間の活動は、毎年一つのテーマによる活動と、その調査結果を前述の部誌として発行する活動との二つに大きく分けられます。

いかと思います。

その部誌には、クラブで活動したほとんどの事や、文化祭展示のまとめが記録され、また、部員間での意見発表の場ともなっており最近では、卒業したOB部員の投稿も見られます。昭和50年に創刊号が発行され、第六号が発行された後、一時発行が途切れましたが、今年の三月には第10号が発行されました。部誌の発行は定着しているようにも思えるのだが、何しろ編集作業が大変なのでしばしばその発行が危ぶまれたりして部誌がその年に発行できない

「第三セクター」というテーマを定めています。そして、実地調査へ出かけたりますなど活発に活動しています。学校の中だけではなく、校外へ出向いて見聞を広めていくことが出来るのもこのクラブの特長といえます。学校では地学教室を活動場所として使用させてもらっていますが、資料などを活用できるような社会科の部屋を利用できたら良いのだが、と思っています。最近では、どのクラブにも共通している事だと思いますが、部員の減少と、活動に熱意の足りない生徒が

をありがたうございました。

お詫びと訂正

前号の卒業生記念号の一面、「担任より卒業生諸君へ」苦名先生の文中ださい。

\* \*

しかし、そういう風にひたむきに進んで行つて、あの四行は、同じ段のその文の最後

「モーション」をかけてくの後につくべきでした。苦名先生をはじめ多くの方々にご迷惑をおかけした事にお詫びします。

す。前者は主に、前期の文化祭に向けての活動であり、後者は、後期の活動の中心になっています。部誌は毎年高校三年の卒業式に卒業する部員に手渡すために何とか間に合うように製作されています。活動の停滞しがちな後期にあって、年間を通じて活動できるような

かはその学年の部員達の熱意にかかっています。活動内容などは全て、生徒達の話し合いによって決まります。昨年は活動テーマに「放置自転車問題」を取り上げ、各地に出向いて調査活動を行ない、おかげで、文化祭展示では奨励賞を受賞することが出来ました。

見られる事に悩まされてい  
て日頃の活動が思うように  
行かないということもしば  
しば起こっています。部員  
数が多くなくとも、地理が  
好きで、熱意を持って活動  
出来る人が入ってくればば  
申し分ないと思います。

このような、日頃は地味

な活動を行なっている地理部ではありますが、文化祭では技術等の水準が高く、この地位を維持しているかと思っっています。今後とも地理部の活動を見守っていただきたいと思うと同時に御協力の程を御願ひ致します。(顧問 千葉先生)

何をしようかと考えて、まあやりたい事をやるんか、やらないかと思うことをやるんか、どっちか知りませんけど、その人なりにやるべき事をやる、しかしやあなあんちがいますかと。なかなか先の事は分かりませんので。とにかく。

——本日はお忙しいところ

お詫びと訂正

の卒業生記念号の  
担任より卒業生諸君  
名先生の文中

＊ ＊

し、そういう風にひ  
に進んで行つて、あ  
は、同じ段のその文  
ジョン」をかけてく  
つくべきでした。苦  
をはじめ多くの方々  
惑をおかけした事  
します。



東大増56人に、京大減86人に！

[illegible]

高二文企顛末記

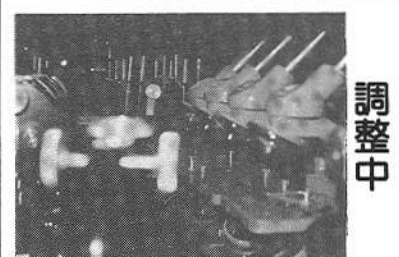
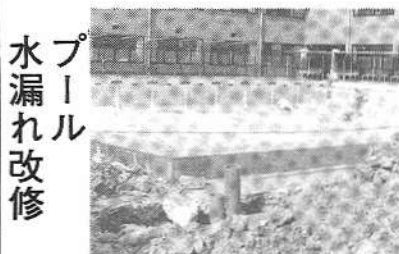
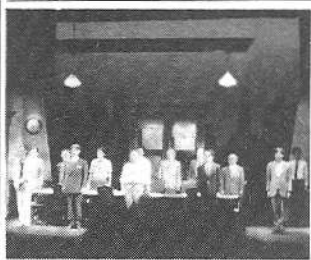
高Ⅱ、中でも文化祭企画委員のエキスパートとよばれる人達は、既に今年の一月から高Ⅱの三役候補のもとに集まり、文化祭準備委員会という有志団体をつくって、文化祭の準備を始めていた。もちろん、それは高Ⅱの三役候補のかかげる基本方針に同意のうえ、活動していたのである。彼らはその基本方針をもとに、週に何度か集まって、在来

動くことは出来ない訳である。彼らは再び集まり、どう対処すべきかを話し合つた。彼等の大多数の意見は「生徒の多数が支持した彼等（高Ⅰ三役）の『みんなで作る文化祭』、『新しい文化祭』という方針のものでは、我々は不要である」というものであったが、結局は「文化祭企画委員はあくまで有志である」ことを重視し、全く個人の意志に

パッション

すなつが写真

12人の  
怒れる男達



# DCブランド

「最近、「DCブランド」なるものが若者の間でとてもはやられているようだ。さうして、みなさんはDCブランドが何なるものか、御存知でしょうか？」

「御存知でない方のために説明すると……」

「見られるから」と、答えた誰に、ということはいやうまでもない。また、彼はそれらのDCブランドのバーゲンがあるたび、2時間も3時間も並んで買うのだそうである。何のためにそうまでするのか、ということも

「DCブランド」東京の青山、原宿などに点在するDESIGNERS & CHARAC-TER BRANDの総称。新進デザイナーによる自由なデザイン、個性化する現代の若者に受け入れられている。しかし、大量生産の過程を通らないので、値段が非常に高いのも事実である。私が知り知りの友人に聞いたところによると、多少なりとも名の知れたブランドもので、頭のとつて、最低でも五万、ちょっと「あつ、これいいな」と思ったものと十万円を越えてしまうようだ。どうしてそんなに高いものを着るかと、尋ねると、彼は言うまでもないと思う。

ここで、DCが着たい↓パーゲンまで待つ↓DCの価値が下がる↓DCを着る意味がなくなる」というレトリックが繰り返られると思うのだが、私のような流行に無頓着なものから見れば、これは全く無駄のような気がしてならない。そこで彼に聞いてみると、彼は一言こう言い放った。

「いいんだよ、結局流行だから」

さて、ある雑誌に次のようなことが書いてある。

「……DCブランドとは政治的主張を持たなくなった青年たちの、社会への主張かもしれない」（傍点筆者）

……………？？？？？？？

「ワははっ 新聞というのはね、時間がかかるんだよ。だってね、こんなおっきな紙を字でうめていくんだよ。気がとおくなりそうだろう。という訳で、新人生歓迎号は今ごろ出ます。」

「情熱いんぼう」

▽僕は、真面目にやっているのだが、編集長が、おこりになりました。僕の書く記事は左によっているからです。ですから没になりました。こんな僕ですが、よろしくお願いします。

ているでしょう。〔長〕  
 マ運動部からの移籍ですが、  
 原稿用紙を埋めるのもかな  
 りつらいノ でも新任の先  
 編集長 H I E 津田憲言

生方のインタビュなど案  
外楽しくて、人それぞれの  
いろいろな考え方があ  
るのには思わず納得してしま  
いました。〔Ｙ・めぐみ〕

顧問  
英語科  
本郷偉人  
加藤一寧  
西村拓也  
竹澤京介  
藤田先生